

## 平成30年度 生物多様性推進活動優秀賞表彰について

○表彰の対象は、以下の取組を行う功績顕著な学校等としています。

自然の恵み	地元食材や旬の食材、地元の食文化について理解を深める取組
ふれあい	自然体験を通じ、自然と関わる楽しさや厳しさ、その地域の特色を学習する取組
自然表現	絵画や作文などの創作活動により、自然のすばらしさや自然との関わり方を学習する取組
自然保護	身近な自然を対象にして、自然や生きものの調査、保護を行う取組
その他	上記のほか、特に生物多様性の保全に資すると認められる取組

### ○平成30年度表彰校・取組実績一覧

学校名	取組実績	部門
村田町立 村田第二 中学校	全学年で農家の指導を受けながら稲作に取り組み、田植え・稲刈り・脱穀から精米・販売を通すことで、農業に携わる上での厳しさや苦労を体験した。また、特に2学年では地元特産の紅花栽培に取り組み、自然と地域社会との深い関わりを実感し、地域の農産物を発信し、生物多様性に関する生徒の意識を高めた。	・自然の恵み
亘理町立 吉田小学校	学年毎にサツマイモ、リンゴ、枝豆、米、ジャガイモ、の栽培を行った。また、栽培した農産物については自ら加工・調理し、農業に関わる苦労、厳しさを学習するとともに、収穫した作物を食べることで自分の育てた農作物への愛着を持ち、ふるさとの農作物及び生物多様性に深く関心を持つことになった。	・ふれあい ・自然の恵み
加美町立 鳴瀬小学校	学年毎にサツマイモ、大豆、米、白菜及び大根の栽培収穫体験を行った。また、この際に地域で行っていた「豆ぶち」「稲の地立て」等の農法を用いた。収穫した農作物は加工し、「収穫感謝の会」として給食で食した。バイオマスガスに関する学習も併せて行い、環境と生物多様性への関心を深めた。	・自然の恵み ・その他
栗原市立 栗駒小学校	栗原市ジオパーク推進室と連携し、ジオパーク学習を推進した。学年毎に「沼に住む生き物とのふれあい」「岩魚養殖」「水源調べ」「水害と暮らし」「大地のつくり」等をテーマに系統的に学習に取り組み、地域と地域を支える人々の生き方及び生物多様性に対する意識を高めた。	・ふれあい
東松島市立 鳴瀬桜華 小学校	学年毎にサツマイモ、大豆、米、そばの栽培・収穫・及び加工を行い、「育てる・作る・食べる」の一連の農業体験を実施した。また、「シナイモツゴ里の会」指導の下、シナイモツゴの里親となり、生物多様性について学んだ。	・自然の恵み ・自然保護
登米市立 横山小学校	学年毎に、花壇の手入れ、サツマイモの栽培、わさび田見学、水辺の生物調査、林業・炭焼き体験等を通して土作りの大切さについて学び、地域の産業である林業について学ぶことにより森の恵み等の生物多様性からの恵みについて考えることができた。	・ふれあい ・自然の恵み ・自然保護
気仙沼市立 大谷中学校	学年毎に、総合的学習の時間として松枯れで消滅していく松林の踏査・下草刈りを実施した他、ウニの生態調査、ふゆみずたんぼによる米作り及び田んぼの生き物さがしを実施した。 3つの活動を通して、自然を学ぶことだけではなく自然に寄り添って生活してきた大谷の暮らしに学び、生物多様性に関する知見を深めた。	・自然の恵み ・ふれあい
宮城県立 支援学 小牛田 高等学 園	年間20数種類の野菜や草花の栽培を実施した。農産物は菓子や餃子として加工し、県内各地で販売した。また、草花については小牛田駅前の花壇に植栽し、地域にも貢献している。これらの生物多様性保全の取組により、自発性やコミュニケーション能力を身につけた。	・自然の恵み ・ふれあい ・自然保護